


6. 暮らしを守る^{まも}





めあて

わたしたちの暮らしを守るために、町では、どこでどのような人たちが働いているのでしょうか。

しおりさんたちは、火事や事故のおそろしさについて話し合いました。

 「火事のニュースを見て、とてもこわいと思いました。」

 「学校にも、火事からわたしたちを守るためのせつびがあるのかな。」

 「交通事故の時は、どんな人たちがどのように働いているのかな。」

など、いろいろな意見が出されました。

そこで、学校や町の中にある消防せつびと、そのしくみや、しおりさんたちの安全なくらしのささえになっている人たちについて調べることにしました。

[1] 火事をふせぐ

(1) 学校の消防せつび



しおりさんたちは、学校の消防せつびはどうなっているのか、校内を調べることにしました。

つかむ

学校にはどのような消防せつびがあるのでしょうか。

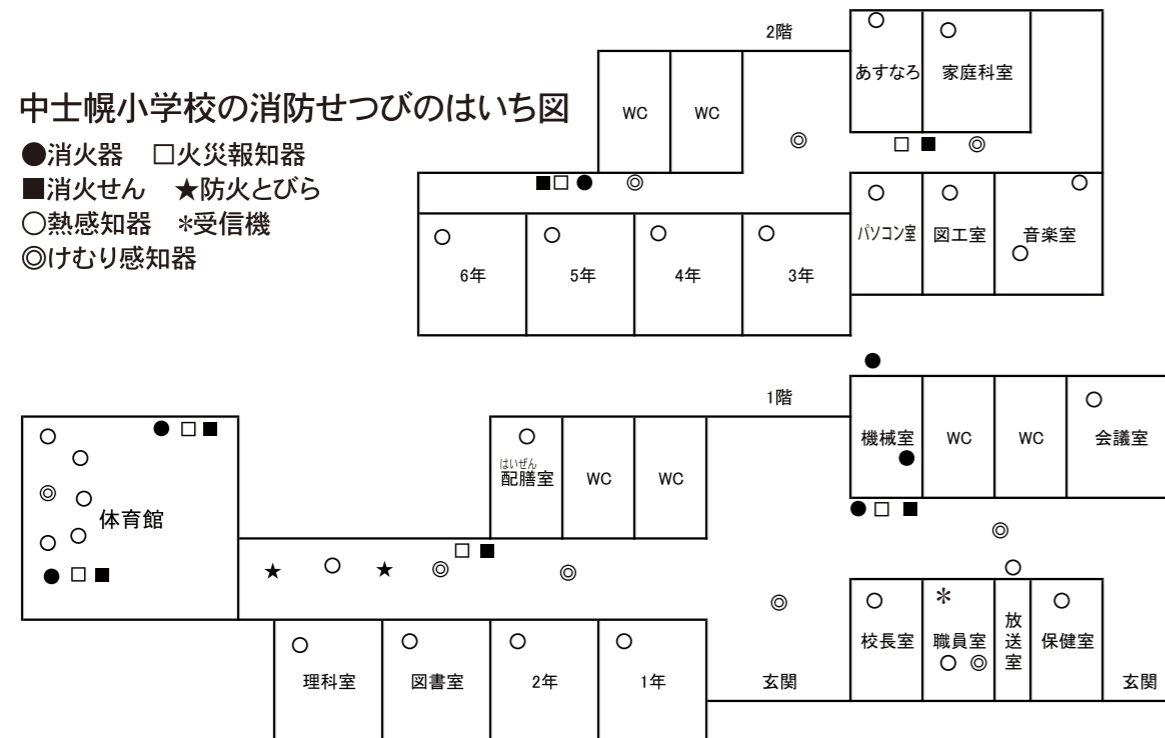


「学校には、どんなせつびがあるのかな。」

「ひなん訓練の時、サイレンが鳴るね。」

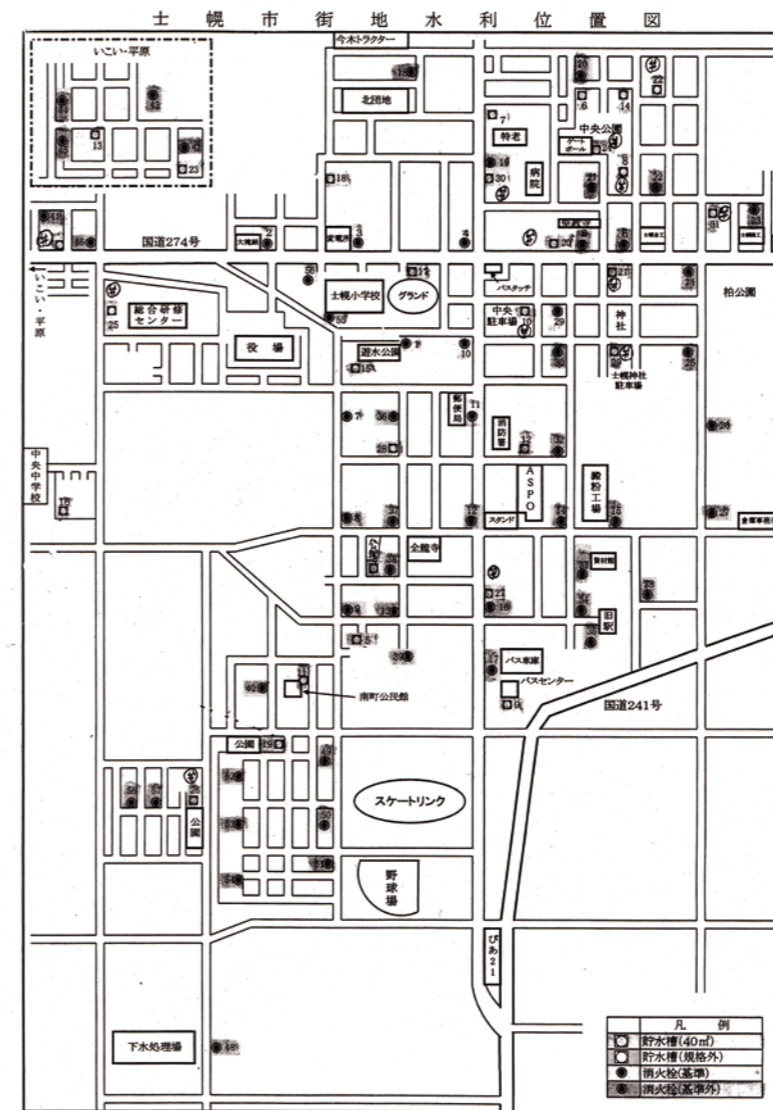
中士幌小学校の消防せつびのはいち図

- 消火器 □火災報知器
- 消火せん ★防火とびら
- 熱感知器 *受信機
- ◎けむり感知器



(2) 地いきの消防水利

しおりさんたちは、地いきの消防水利について調べ、地図にまとめることにしました。



つかむ

地いきにはどのような水利があるのでしょうか。

ことば

●水利
消火せんや防火水そう・河川など、消火活動に必要なしせつのこと。



「学校や家の周りには、どんなせつびがあるのかな。」



「わたしたちのひなん場所はどこかな。」

(3) 消防署をたずねて

しおりさんたちは、消防署をたずねて、知りたいことをいろいろ聞いてみました。

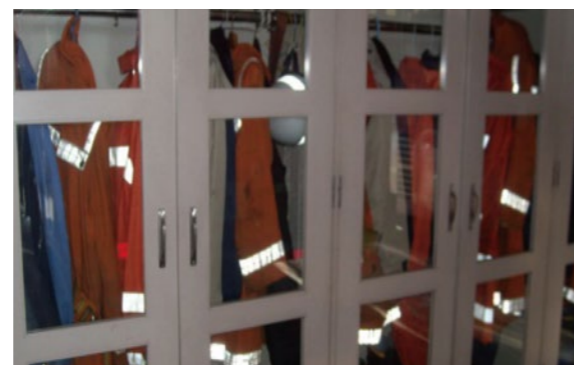
つかむ

消防署の人はどのような仕事をしているのでしょうか。



士幌消防署

消防署は町の中心にあります。車庫の中にはいろいろな種類の車がならんで入っていました。また、まわりのかべには防火服がきちんとならべてかけてありました。



●とち広域消防事務組合指令室の働き

係の人が、とち広域消防事務組合指令室に案内してくれました。

とち広域消防事務組合指令室には、119番の電話を受ける係の人が24時間いることや、火事の知らせが指令室に入ると、指令室から火事の起きたところの近くの消防団や分団などに連絡することがわかりました。

ことば

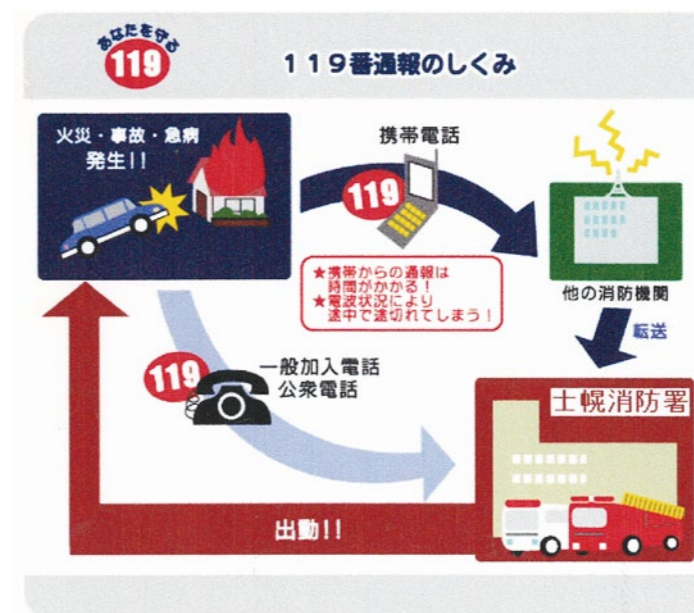
●消防団

地いきの人たちが作るそしきで、火事などの災害の時に、消防署と協力します。

団員は、ふだんはそれぞれが別の仕事をしていて、いざという時に活動します。

119番で知らせること

- ・火事なのか、救急なのか
- ・火事なら何がもえているのか
- ・場所はどこか
- ・近くにある目印になるもの
- ・自分の名前



●火事にそなえて

見学の後で、しおりさんたちは、係の人に火事の現場に早く到着できるわけを質問しました。

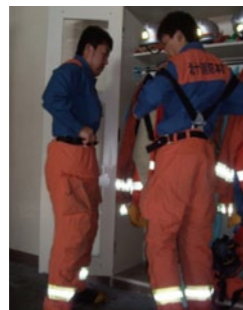
士幌消防署の西部さんの話



119番を受けた時に、できるだけ早く火事の現場にかけつけ、確実に消火できるように、消防士は、ふだんから消火しせつの点検をしたり、道路や住宅の様子を調べたりしています。また、防火服・マスク・ボンベなど火事の現場と同じそびをして、はしごをのぼったりする訓練をしながら、火事にそなえています。

●消防署の人たちのきんむ

[午前]		[午後]										[午前]	
8:30	9:00	10:00	12:00	1:00	2:30	3:30	6:00	7:00	8:00	10:00	6:00	8:30	
ひきつぎ	機械の点検・体操	事む・調さ	消防自動車の走行訓練	昼食・休けい	事む・調さ	防火水そうの点検	訓練	事む・調さ	夕食・休けい	のこりの仕事	休けい	仮眠	無線の通話しけん 消防自動車の点検 そうじ



すばやく着がえて



出動・消火活動



てびき

教科書下9～11ページも見てみましょう。

[2] 交通事故をふせぐ

(1) おそろしい交通事故

しおりさんたちは、交通事故の写真を見ながら話し合いました。



「道路がおおっていたのかな。」

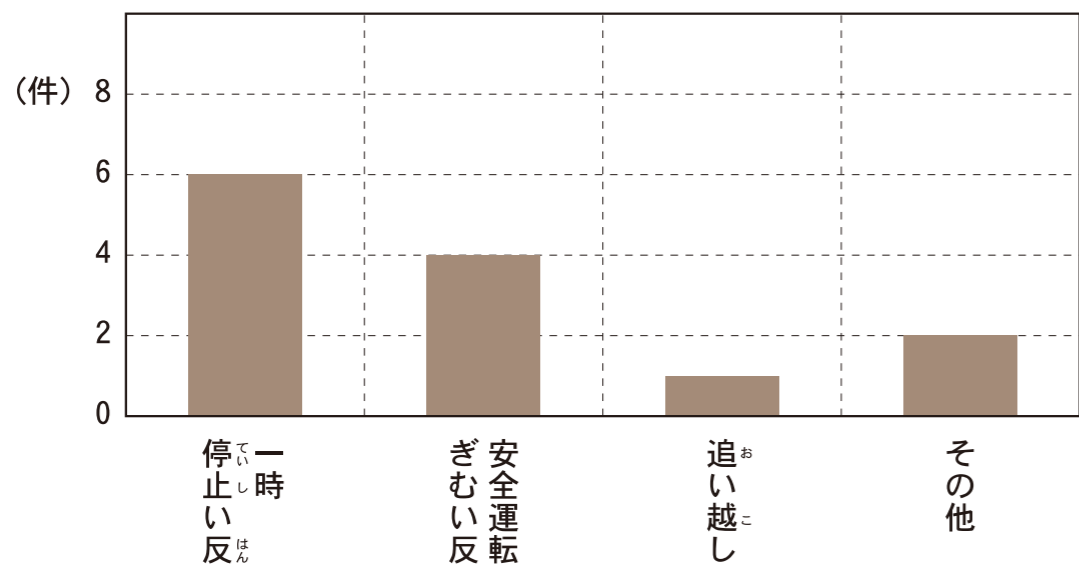


「きっとスピードを出しすぎていたんだよ。」

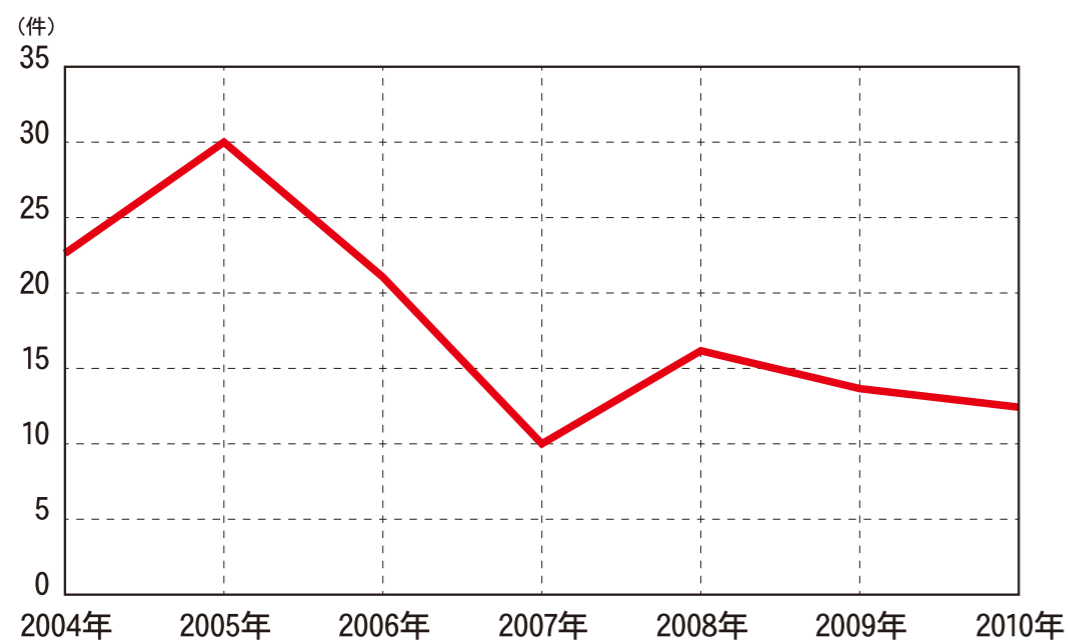
つかむ

交通事故は、どのような時に起きるのでしょうか。

資料から調べてみると、交通事故は士幌町内だけでも毎年たくさん起きていることや、事故の原因には、一時停止い反や安全運転い反など、いろいろあることがわかりました。



原因別に見た士幌町の人身事故の件数 <2010(平成22)年> [帯広警察署資料]



士幌町で起こった人身事故の発生件数 [帯広警察署資料]

そこで、交通事故が起きたら、だれがどのようなことをするのか、また、交通事故が起きないようにするために、どのようなことがおこなわれているのかを調べることにしました。

(2) 交通事故が起きたら



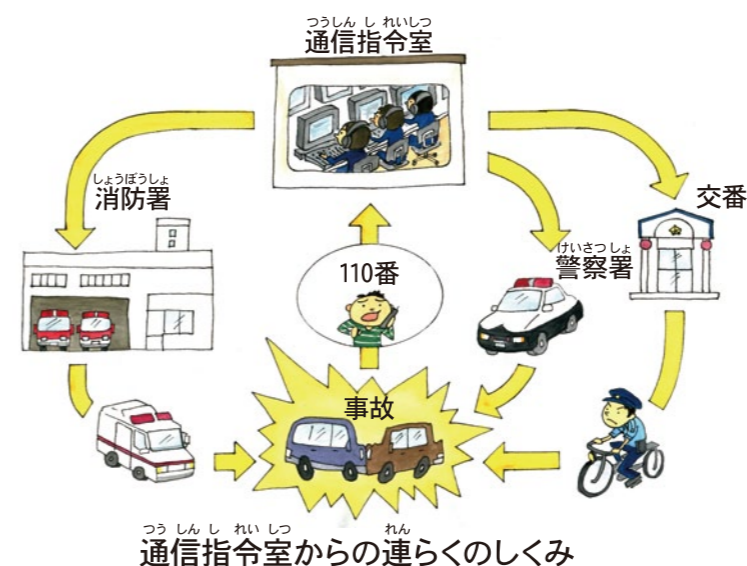
「事故が起きたら、どこに知らせたらいいのかな。」



「事故の現場では、どんな人たちがどんな働きをしているのかな。」

つかむ

交通事故の知らせは、どのように伝わるのでしょうか。



けいさつへの通報

- ・110番にかける
- ・事故の様子
- ・場所はどこか
- ・自分の名前や電話番号

士幌駐在所の清水さんの話



事故の現場では、けがをした人の救護が第一です。また、新たな事故が起きないように、付近の交通整理をしたり、事故の原因を調べたりします。

また、最近では携帯電話からの、110番への通報が増えています。みなさんも事故を見かけたら落ち着いて110番して下さい。

●^{ちゅうざいしよ しごと}駐在所の仕事

つかむ

警察の仕事にはどのようなものがあるのでしょうか。



「士幌町には、士幌市街と中士幌に駐在所があるね。」



「駐在所の警察官の人は、どんな仕事をしているのかな。」

●交番と駐在所のちがい

	交番	駐在所
ばしょ 場所	帯広市の中心部	町や村
はたら 働いている時間	24時間	午前8時45分から 午後9時半まで
警察官	交たいする	同じ人
	けいさつしよ 警察署から 交たいでくる	かぞく 家族といっしょに 住んでいる

●駐在所の警察官の仕事



(3) ^{じこ}交通事故をふせぐには

よしとさんたちは、交通事故をふせぐには、どのような取り組みや工夫があるか、警察署の方に聞いてみました。

つかむ

事故をふせぐため、どのような活動をしているのでしょうか。



^{ほんだ}中士幌駐在所の本田さんの話



交通事故をへらすには、日ごろからドライバーや歩行者に対して安全への意識を高める取り組みが大切です。地いきの方とも協力しながら、広報活動や巡回パトロールをしたり、交通安全教室に参加して事故防止をよびかけたりしています。

つかむ

事故をふせぐためのせつびには、どのようなものがあるのでしょうか。

「町の中には、事故をふせぐためのいろいろなせつびがあるね。」

「道路や学校の近くにも、いろいろな標しきがあるよ。」



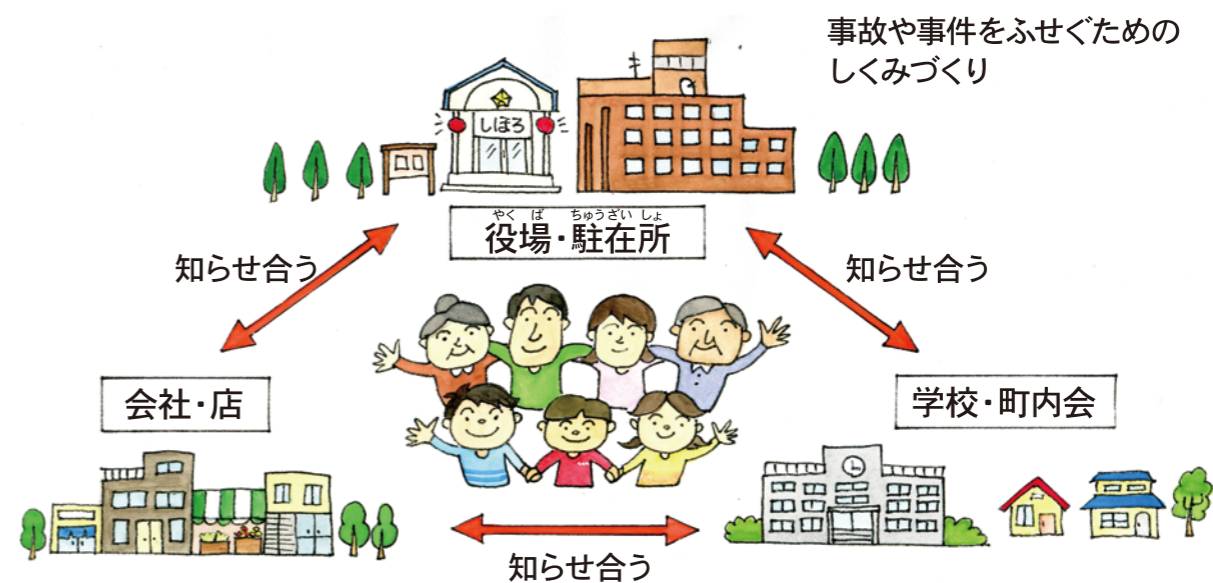
(4) 安全な町づくり

「地いきをパトロールしている人たちを見かけたことがあるよ。」

「わたしは、近所で、子ども110番の家と書いたシールを見たことがあります。」

つかむ

安全な町づくりのために、どのような取り組みがされているのでしょうか。



てびき

ほかにもどのような取り組みや工夫がされているか、調べてみましょう。

「安全な町づくりのために、いろいろな人が協力しているんだね。」

「町の安全マップをみんなでつくってみたらどうかな。」